

【平和講話～対馬丸に乗ったお兄さん～】

平和集会において、6年生は玉城雄一（たまき ゆういち）さんの講話を聞きました。対馬丸に乗る予定だったという玉城さんは現在 91 歳。長嶺小学校の朝の交通安全指導や市内小学校での平和学習講師など、今も現役でボランティア活動を続けられています。玉城さんの力強い言葉に、6年生は真剣な表情で耳を傾け、平和への思いを新たにしていました。

令和 8 年 6 月 17 日 (水)



とよみっ子

発行 とよみ小学校
校長 玉城 健
令和 8 年度 6 月号
6 年生平和集会

戦争の 5 歩手前で話し合い

豊見城市立とよみ小学校 6 年 宜保華花

今日、学校で玉城雄一さんから、戦争と平和についてのお話を聞くことができました。話を聞いて特に印象に残ったことは、兵隊さんのウジを取ってあげていた話です。まだ子どもなので、逃げることに精いっぱいの中、兵隊さんのことも助けていたことが心に残りました。

また、争いではなくスポーツなどの対決で平和的に解決すればよいという話も印象に残りました。確かに、話し合いで解決できるというと思うけれど「怒っている」状態だと、それができないから、戦争や争いがあるということも分かります。

だからこそ、感情で動かず、凶などを使って現状を冷静に見たり、戦争の 5 歩手前くらいで、余裕をもって話し合ったりすることが必要だと思いました。

平和講話を通して、戦争のことだけでなく、平和についても考えることができました。

【令和 8 年 6 月 26 日 (金) 沖縄タイムス掲載】

沖縄戦を伝えていきたい

豊見城市立とよみ小 6 年 平良 瑠美七

私たち 6 年生は、平和集会で戦争体験者の玉城さんのお話を聞きました。

お話を聞いて特に印象に残ったことは、アメリカ人は悪い人だと言われていたけど、戦争が終わった後、食料などをくれたという話が心に残りました。いい人も戦争になると悪い人だと思われるのかなと思いました。

他にも、戦争中はソテツなどの植物を取って食べていたことや、カエルは生で食べていたことにも驚きました。そして、普段の生活に戻るまでに 2 年ほどかかり、学校に行けるようになって午後などの時間に、戦争で亡くなった人の骨拾いをしていたことを知りました。

話を聞いていても戦争は二度としたくないと思いました。これからは戦争についてもっと調べて沖縄戦を伝えていきたいです。

【令和 8 年 6 月 28 日 (日) 琉球新報掲載】